

1. はじめに

IBM Infoprint45 をご利用いただきましてありがとうございます。

この更新パッケージを利用することで、最新機能を含むプリンター制御プログラムを導入していただくことができます。導入後はこのパッケージでは元のレベルには戻せません。また、手順どおりに導入されない場合、修理が必要な故障となる場合もありえますので、このガイドを良くお読みになり注意して導入していただけますようお願いいたします。

2. 同梱品について

本パッケージを実行し、展開先を指定してファイルを取り出してください。展開しますと以下のファイルが同梱されております。お確かめください。

- setup2to3.mcu
- CTL3xxxxxx.mcu (xxxxxx は 6桁の数字です。細かなバージョンを示します。)
- IPDS3xxxxxx_cf1.mcu (xxxxxx は 6桁の数字です。細かなバージョンを示します。)

また、別途最新のユーザズ・ガイドもダウンロード可能ですので、ご参照ください。

3. 機能更新に関わる注意事項

プリンター制御プログラムのバージョンを 2.xxxxxx から 3.xxxxxx へ更新することにより新しい機能をお使いいただけるようになりますが、使用方法が変更される部分もあるため、以前までご使用になっていた設定値の再設定が必要な場合があります。以降の手順でもご説明しておりますが、現時点のプリンターの設定を記録の上、必要に応じて更新後に再設定していただけますようお願いいたします。

また、不定形用紙の定義方法が変更されております。詳しくは最新のユーザズ・ガイドをご参照ください。

4. 更新の手順について

大きな流れは以下のようになります。

- (1) 最新のユーザガイドを読み、機能の更新が業務に支障をきたさないか確認する。
- (2) プリンターの管理者に依頼し、プリンターへの出力を止める。
- (3) プリンター構成ページを印刷し、現在のプリンター設定を確認する。
- (4) 新しいプリンター制御プログラム (MCU ファイル) をプリンターに送り込み、プリンターの制御プログラムを更新する。
- (5) プリンター構成ページを印刷して更新前のプリンター設定と比較し、必要があれば再設定する。

5. プリンター制御プログラム (MCUファイル) の送り込み

5.1. 必要な環境、データ

- LPRが使用できるPC。
用意したPC (Windows NT, 2000またはLPRプログラムを組み込んだWindows98など) からプリンターへLPRでデータを送れることを確認しておいてください。
Windows98の場合は標準でLPRが提供されていないのでibmlprなどのLPRプログラムを導入しておく必要があります。ibmlprは以下のURLからダウンロードできます。
<http://www-6.ibm.com/jp/printer/download/utility.html>
- 3つのMCUファイル(1: setup2to3.mcu, 2: ctl3xxxxxx.mcu, 3: ipds3xxxxxx_cf1.mcu)。これらのMCUファイルの送り込みはこの順番で実施する必要があります。

5.2. 実施手順

- (1) あらかじめ10枚程度の用紙を印刷できるようにセットしてください。
- (2) プリンター構成ページを印刷します。
参考: “テストメニュー” “プリンター コウセイ” 実行KEY
- (3) MS-DOS プロンプト (コマンド プロンプト) を開いてください。
- (4) setup2to3.mcu の送信
 - (4-1)LPRにより setup2to3.mcu をプリンターに送信してください。
 - Windows NT / 2000 等の場合
LPR -S <ip.adrs> -P PASS -o | <setup2to3.mcu>
注: <ip.adrs>はプリンターのIPアドレス
注: “-o |”は小文字のオーと小文字のエル
注: <setup2to3.mcu>はデータファイル名。必要に応じてファイルのあるパス名をつける。
 - Windows98 等で IBMLPR を使用する場合
IBMLPR -S <ip.adrs> -P PASS <setup2to3.mcu>
注: <ip.adrs>はプリンターのIPアドレス
注: <setup2to3.mcu>はデータファイル名。必要に応じてファイルのあるパス名をつける。
 - (4-2)送信が完了するとプリンターが初期化を始めますので、完了するまで数分お待ちください。
 - (4-3)初期化を完了後、データの更新が成功したか結果が印刷されますので確認してください。
(Appendix-1を参照。)
- (5) ctl3xxxxxx.mcu の送信
 - (5-1)LPRにより ctl3xxxxxx.mcu をプリンターに送信してください。(方法については(4-1)参照。)
 - (5-2)送信が完了するとプリンターが初期化を始めますので、完了するまで数分お待ちください。
 - (5-3)初期化を完了後、データの更新が成功したか結果が印刷されますので確認してください。
(Appendix-2を参照。)
- (6) ipds3xxxxxx_cf1.mcu の送信
 - (6-1)LPRにより ipds3xxxxxx_cf1.mcu をプリンターに送信してください。(方法については(4-1)参照。)
 - (6-2)送信が完了するとプリンターが初期化を始めますので、完了するまで数分お待ちください。
 - (6-3)初期化を完了後、データの更新が成功したか結果が印刷されますので確認してください。
(Appendix-3を参照。)

プリンター制御プログラム (MCUファイル) は特別なものなので、バッチ・プログラム等を用いて

連続的にプリンターに送信しないでください。また、送信するMCUファイルの順序も上記の手順にしたがってください。

MCUファイルの送信中はプリンターの操作パネルに " CODE UPDATE IN PROGRESS / DO NOT POWER OFF " と表示されます。初期化が完了するまで電源を途中で切らないよう注意してください。

(7) プリンター構成ページを印刷してください。

(8) プリンター構成ページにおいて、MACHINE INFO 中の以下の3つの項目の値が 3.xxxxxx (xxxxxx は6桁の数字で、細かなバージョンを示します) になっていることを確認してください。

```
MACHINE INFO
      :
ROM = 3.xxxxxx
CTL = 3.xxxxxx
      :
IPDS = 3.xxxxxx
      :
```

(9) プリンター制御プログラムの更新前に(2)で印刷しておいたプリンター構成ページと比較して、使用していた設定値が変更されている場合は再設定をしてください。

以上